

News Release

岩谷産業株式会社 広報部

2020年2月20日

京丹後市と近未来技術の導入促進に係る協定を締結

～ ガス漏れ警報器に電気・ガス・水道メーターを接続した実証スタート ～

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：谷本光博、資本金：200億円）は、本日、京都府京丹後市と、京丹後市をフィールドとする近未来技術の実装を推進することにより、地域課題をはじめ、地域の活性化や市民サービスの向上を目的とした「近未来技術の導入促進に係る連携・協力に関する協定書」を締結しました。

当社は、一般家庭に設置するガス漏れ警報器に通信機能を付加することで、様々な「モノ」をインターネットにつなぐ中継基地として機能する新技術「イワタニ・ゲートウェイ」による当社独自のIoTプラットフォームの構築を進めております。

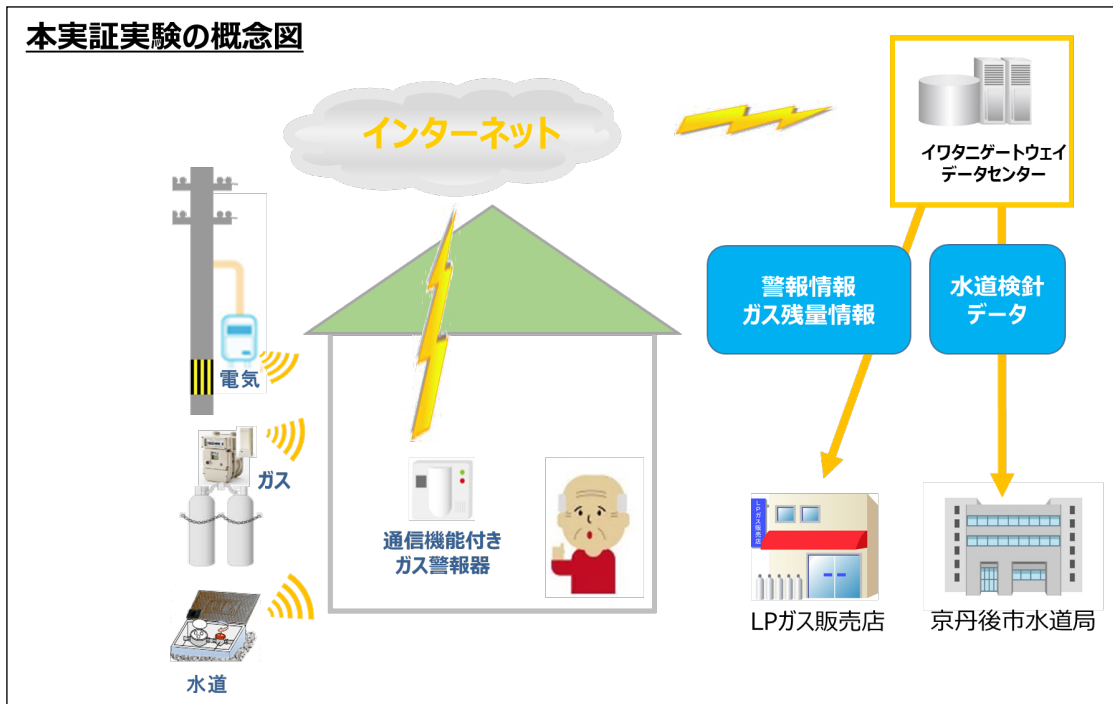
また、当社は、国内最大規模のLPガス顧客供給基盤を有しており、全国のお客さまに対して緊急時には30分以内に保安作業員が現場に駆け付けられる体制を確立していることから、このようなリアルな事業基盤とIoTプラットフォームを融合させた新たな事業モデルの創出に取り組んでいます。

このたびの京丹後市との協定締結により、同市内のLPガス顧客に設置した通信機能付きガス漏れ警報器にLPガスの他、電気と水道メーターを接続し、使用状況などのデータ収集を行う実証試験を開始します。本実証試験は、京丹後市および当社LPガス販売組織会「マルキ会」の会員である中山商事株式会社とも連携して実施します。

今後は、京丹後市や大学などとも連携して、取得したデータの分析や機器開発を加速させ、高齢者のみまもりサービスや健康管理など、お客さまの生活を様々な場面で支える新しいサービスを提供するプラットフォームを構築し、「イワタニ・ゲートウェイ」を軸として、更なるLPガス事業の拡大に努めてまいります。

■連携・協力事項

- (1) 京丹後市の近未来技術の情報収集及び発信・啓発活動への相互連携・協力
- (2) 京丹後市の近未来技術の導入に向けた調査・研究への相互連携・協力
- (3) 福祉サービスの向上のための生活インフラデータの収集並びに利活用の模索への相互連携・協力



以上